

令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

1 会長挨拶

・新しくなる通学路を校長と実際に歩き、防犯面の課題等を確認した。気になる点については、寺戸事務所や市役所にも働きかけていきたい。

2 校長より

- ・今年度終盤。支援への感謝。寺戸事務所へ何度も足を運んでもらい助かっている。
- ・来年度1年生は109名の予定で3クラス。教室不足は継続だが児童数は減少傾向。
- ・離任式は3月27日9時から。
- ・大きな事故なく終えられそうであるが、気を抜かずしっかりと締めくくっていきたい。

3 熟議 「児童・保護者・教職員アンケート」について

(児童)「自分を知るアンケート」自分で学び方を選んだり、コミュニケーションをとったりしながら学びを深めることを目指しているので、児童はどう感じているのかがみとれた。

(保護者)肯定的意見が多く、安心したが少数意見についても大切にしていきたい。

(教職員)退勤時間は早くなったが業務量は減っていないので労働時間の適正化が進んでいないと感じる教員が多い。

- ・児童へのアンケートで、調べ方について問われているが、インターネット等での検索と直接人と出会って話したり気づいたりすることが同列になっている設問に違和感を感じる。
- ・アンケート後の対策が重要。そして保護者アンケート回答率が約6割なのが気になる。労働時間や業務改善は解消のめどがあるのだろうか。
- ・学校としては会議の精選をしているがそれ以外に必要な対応も多い。
- ・月曜の定時退勤日での効率化が、他の日にも良い影響を与えている。
- ・ICT化が進む中でも、子どもの姿を共有するコミュニケーションは大事。
- ・教育委員会としても無線PC導入やクラウド化など改善策を検討してくれているので少しでも業務改善につながれば嬉しい。
- ・新しいICTやDXが入ると逆に負担になることもある。
- ・京都市にはチーム担任制の学校もあり、負担軽減に効果があると聞く。
- ・本校も一部教科で複数担任体制を行っている。
- ・人間関係が良い雰囲気。カウンセリング等フォローの成果もあるのでは？
- ・情報発信は苦手な人もいる。HPでの発信は保護者の理解に繋がる。子どもは学校生活で精一杯がんばって帰ってくるのでケアに感謝している。
- ・自己肯定感が高い数値。肯定的な保護者のみ回答という偏りも考える必要。地域理解の機会もあってほしい。

■ アンケートのお願い

- ・来年度も引き続き協力をお願いしたい。

